



教育関係の皆様へ

公益社団法人日本将棋連盟

学校教育への将棋導入

支援事業についてのご案内



将棋のコマタロウくん

東京本部 学校教育係

〒151-8516 東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目18番5号

TEL : 03-3408-6165 FAX : 03-3404-7301

MAIL : gakkou@shogi.or.jp

関西本部 学校教育係

〒569-1123 大阪府高槻市芥川町2丁目2-6

TEL : 072-668-5728 FAX : 072-668-6828

MAIL : kansai-fukyu@shogi.or.jp

学校に将棋を導入してみませんか？

学校教育への将棋導入事業とは、学校内において、将棋というわが国が誇るべき伝統文化に触れることにより、日本文化の理解を深める機会を設け、礼儀作法の習得、集中力や忍耐力、相手を思いやる気持ちなど 児童・生徒の豊かな心や生きる力をはぐくむ機会を設けます。将棋を通じ社会に貢献をすることを目的に行われます。

将棋とは

- ・将棋の祖先は古代インドの「チャトランガ」というゲームといわれています。時代を経てそれぞれの国の文化の特徴が表れ、各国の将棋へと進化しました。日本の将棋はわが国独自の文化です。
- ・将棋を通じて、「礼節・マナー」「自ら考え決断すること」「コミュニケーション力」「相手への思いやりの心」が身に付くなどの教育的効果が認識されるようになってきました。近年では「総合的な学習の時間」で授業に取り入れている学校もあります。
- ・将棋は生涯娯楽です。友達同士はもちろん、兄弟姉妹・親子・祖父母と孫、誰もが楽しむことができます。将棋は地域や世代を繋ぐツールです。

将棋で育てる4つの力

1.礼節・マナー

将棋は礼に始まり、礼に終わるとされています。対局が始まる時には「お願いします」と一礼し、対局が終われば「ありがとうございました」と一礼する。勝ち負けだけではなく、相手へ礼節を尽くすことを学びます。

2.洞察力・判断力・決断力

将棋は盤上にすべての情報を公開しています。その情報をもとに、現在の状況からどう進めるべきかを判断し、論理的な思考に基づいて決断しなければなりません。それらを自ら考えることで洞察力や判断力が自然と身に付きます。

3.コミュニケーション力

将棋は一人ではできません。必ず対局には対戦相手が必要です。また対局後に行われる感想戦では、お互いにどう考えたかを話し合います。そこには、友達との出会い、地域との交流、世代を超えた絆が生まれ、そのなかでコミュニケーション力も磨かれていきます。

4.思いやりの心

将棋は勝ち負けを競うものである以上、必ず勝者と敗者が存在します。勝敗は自らが戦局を洞察して判断した決断の結果として、決して他人のせいにはできるものではありません。自ら負けを認める力が、後に相手を思いやる心へと成長していきます。

学校教育支援内容

対局見学

東京・将棋会館、関西将棋会館で行われる公式戦が見学できます。

日本将棋連盟では、本物を見る機会を提供することで、日本文化への理解を深めていきたいと考えています。

※要事前申請。
※10名以上の見学は不可。
※棋戦、時間帯、日程によっては観戦できない場合があります。

講師派遣

クラブ活動や課外授業に指導者を派遣し、技術指導の支援を行います。

公開授業・講演会・研究発表会などにも棋士を派遣し、将棋文化を知る機会の提供に努めます。

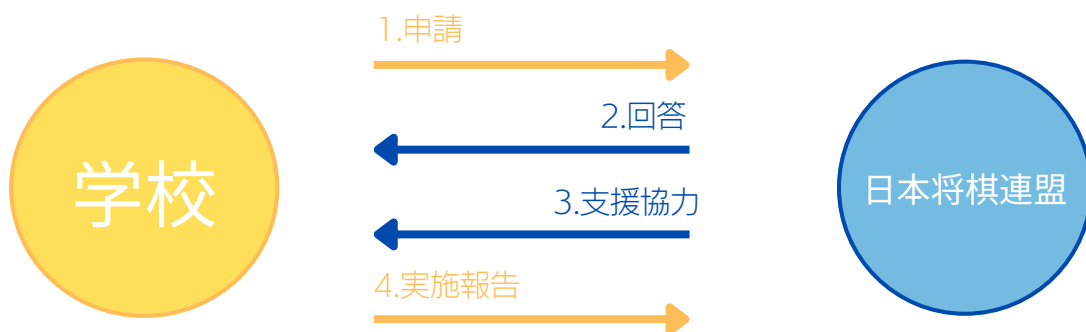
教材支援

ご希望に応じて対局用具の無料貸出や将棋パンフレットの無料提供を行います。（送料別）

将棋をやってみたいけど道具がない…、という方にもお気軽にお申込みいただけます。



学校教育支援イメージ



支援の対象

- ・学校（小・中・高・大）、教育委員会、学校内で実施する放課後等の活動団体が主催であること
（総合的な学習の時間における授業、公開授業、土曜日授業、クラブ活動、放課後クラブ、サマースクール等）
- ・実施場所が学校敷地内であること
- ・10人以上の参加が見込めること

申請にあたってのお願い

A.講師の派遣費用について

講師への謝礼・交通費は日本将棋連盟にて負担いたしますが、皆様にも一部ご負担のご協力をお願いします。皆様のご負担につきましては学校や市区町村で定められた基準で対応いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

B.ご担当者の方へ

将棋による教育には、身近な方との対話もとても大切です。ご担当の方も児童生徒と一緒にご参加ください。また文部科学大臣杯将棋団体戦や小学生名人戦などの各種大会への参加もお薦めいたします。対局を通して、協力や思いやりの精神が育まれます。



事例紹介



1. 総合学習3コマ分を取り入れてもらう事例

2. 2コマを使って1日で終わらせる事例

3. 1コマを使って1日で終わらせる事例

4. 講演会のように体育館等で行う事例

5. 中高や大学の毎週の授業で取り入れてもらう事例

6. その他

サマースクールやウィンタースクールの講師

クラブ活動や部活動の講師として技術指導・文化祭ゲストなど

詳細・お申込み



公益社団法人日本将棋連盟ホームページ

<https://www.shogi.or.jp/about/activities/education/>

- 学校教育への将棋導入支援事業へのお申込みは別紙の申請書をご利用ください。
- 申請書には学校印の押印が必須です。
- 支援事業は単年度で完了するものとし、同支援事業を次年度も継続する場合にも新たに申請手続きが必要となります。